

豊橋駅前面白く 9企画始動

豊橋市のまちなかをもっと面白い場所へ。民間主導のまちづくりを目指し、住民や地元事業者らが昨年立ち上げた任意組織「豊橋まちなか会議」が、市民提案企画を形にする「まちじゆうステーション」プロジェクトを開始した。地域課題解決を狙うものなど九企画あり、関係者は参加を呼びかけている。

(五十幡将之)

プロジェクトは、豊橋駅から住民有志の協議体「豊橋前の再開発事業に合わせて 駅前大通地区まちなかみデザイン会議」が開催してきた。住民の意見をまちづくりに イン会議」が開催してきた。反映させようと、一昨年から アイデア出し企画が前身。



まちなか活性化企画のイベント案を検討する住民のプロジェクトメンバー。豊橋駅前大通で

祭りや交流会など まちなか会議、参加募る

豊橋まちなか会議はデザイン会議の部門が独立する形で発足した。

昨年十二月にあったプレゼン大会には、地元自治会長や事業者、大学院生ら九チームが参加。新たな移住者・出店者と地元住民の交流が少ない課題の解決を狙う「おしかけーラジオ体操」や、誰もが参加しやすい「新しいお祭り」、平日の町中にキッチンカーが集う「出張！まちなか昼ごはん」、各界のトップランナーを招いて開催する交流会「temiyo BAR」など九案全てが採用された。

多くの企画は今月から本格始動するが、既に一部の企画は始まっている。詳細スケジュールは豊橋まちなか会議のホームページやチラシなどで公開している。

企画案は随時募集中で、豊橋まちなか会議の担当者は「二年後には再開発の一環で駅前に『まちなか広場(仮称)』が完成予定。新しい空間を住民が有効活用するための下地をそれまでの間に醸成していきたい」と話している。